

源流から河口までゴミ拾いのネットワーク

荒川クリーンエイドは、2016年も市民団体・自治体・企業・学校など様々な団体とのパートナーシップを実現しながら、荒川とその支流の各地で実施されました。

市民団体

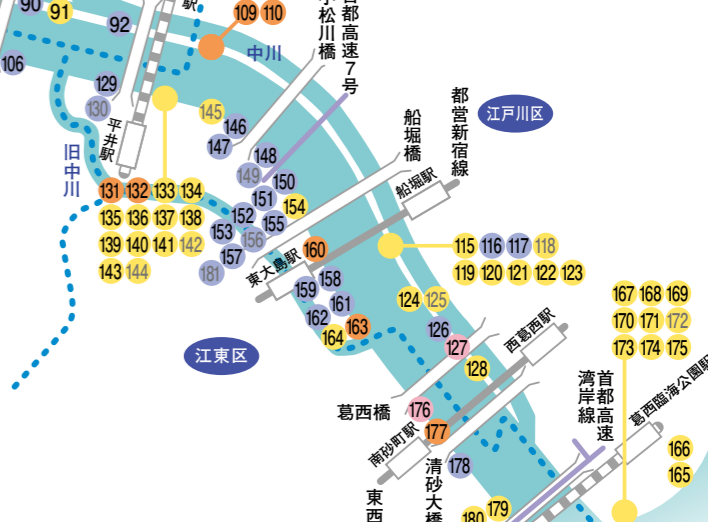
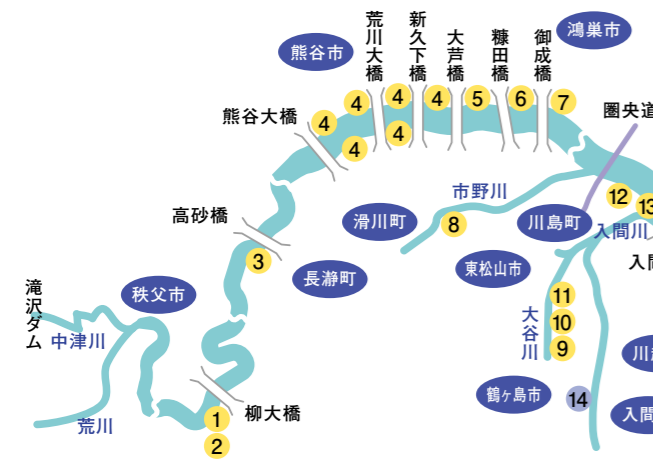
- ①・② (NPO)秩父の環境を考える会、③ 秩父教育懇話会(秩父こどもエコクラブ)、④ (NPO)熊谷の環境を考える連絡協議会、⑤・⑥・⑦ 鴻巣の環境を考える会、⑧ ふれあい市野川クリーンアップ作戦協議会、⑨・⑩・⑪ 大谷川クリーン大作戦市民実行委員会、⑫ 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会秋イベント実行委員会、⑬ (NPO)荒川の自然を守る会、⑭ あさか環境市民会議/黒目川に親しむ会、⑮ 黒目川クリーンエイド実行委員会、⑯ 埼玉県生態系保護協会戸田・蕨支部、⑰・⑱ (NPO)国際ボランティア学生協会、⑲ 荒川夢クラブ、⑳・㉑ 埼玉県生態系保護協会 川口支部、㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳・㊴・㊵・㊶・㊷・㊸・㊹・㊺・㊻・㊼・㊽・㊾・㊿



足立区本木・水辺の会

- International Center、⑩⑩ 大地ママ蘭心絵(環境・国際研究会)、⑫⑫・⑬⑬ 東京東江戸川ローターアクトクラブ、⑭⑭・⑮⑮・⑯⑯・⑰⑰・⑱⑱ 川の手ファンクラブ、⑲⑲・⑳⑳・㉑㉑・㉒㉒・㉓㉓・㉔㉔・㉕㉕ 下平井水辺の楽校、㉖㉖ 小松川平井地区連合町会、㉗㉗ 江戸川・生活者ネットワーク、㉘㉘・㉙㉙ 葛西東渚・鳥類園友の会/(NPO)えどがわエコセンター、㉚㉚・㉛㉛・㉜㉜・㉝㉝・㉞㉞・㉟㉟・㊱㊱・㊲㊲・㊳㊳・㊴㊴・㊵㊵・㊶㊶・㊷㊷・㊸㊸・㊹㊹・㊺㊺・㊻㊻・㊼㊼・㊽㊽・㊾㊾・㊿㊿

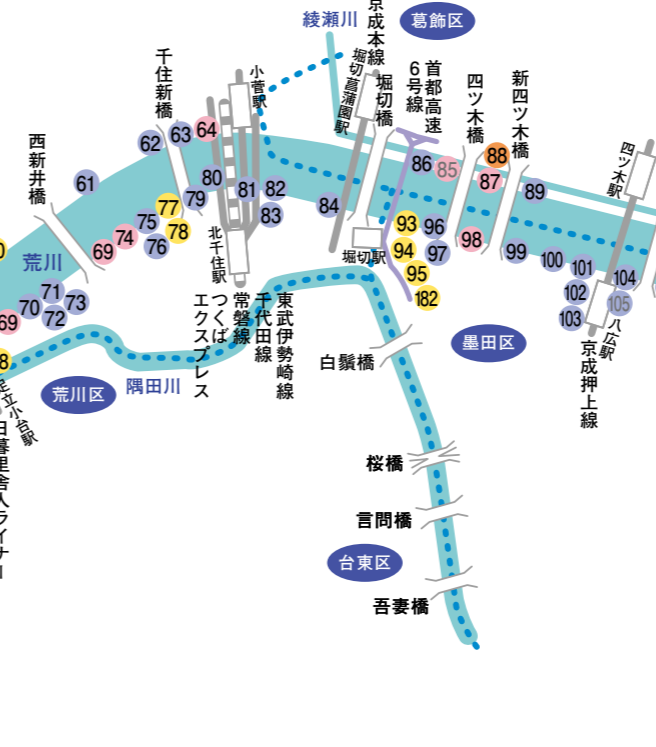
(計100会場)



● = 市民団体 ● = 企業
● = 自治体 ● = 学校
中の数字は会場番号
(数字がグレーの会場は雨天中止)

企業

- ⑭・⑮ NTT東日本 埼玉事業部グループ、⑯・⑰ リコージャパン(株)、⑱ 三菱UFJ信託銀行(株)、⑳ 日本工営(株)、㉑・㉒・㉓ (株)日立ビルシステム、㉔・㉕ 豪田ヨシオ部((株)クリエイティブPR)、㉖ 東レ(株)、㉗ 足立成和信用金庫、㉘ 情報労連東京都協議会/NTT労働組合東京グループ連絡会、㉙ 西武建設(株) 東京支店、㉚ (株)セイコーファシリテズ、㉛ 日本KFCホールディングス(株)、㉜ 三井住友海上プライマリー生命保険(株)、㉝ (株)システム・サイエンス、㉞ エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ(株)、㉟・㊱ 日本ロレアル(株)、㊲ ジブラルタ生命保険(株)、㊳・㊴ (一財)アールビーズスポーツ財団、㊵ (株)東京スター銀行、㊶ (一社)東京損害保険代理業協会、㊷・㊸ (株)エックス



学校

- ⑳ 東京都立桐ヶ丘高等学校、㉑ 荒川区立大門小学校、㉒ 葛飾区立中川中学校、㉓・㉔・㉕・㉖ 江戸川区立大杉小学校、㉗・㉘・㉙ 葛飾区立小松南小学校、㉚ 江戸川区立平井小学校、㉛ 江戸川区立平井東小学校、㉜ 江戸川区立小松川第二小学校、㉝ 江東区立第五大島小学校、㉞ 東京都立東高等学校

(計: 15会場)



江東区立第五大島小学校



足立区

自治体

- ⑰ 戸田市役所道路河川課、⑱ 川口市役所建設部建設管理課、㉑ 板橋区みどり公園課、㉒ 北区、㉓ 足立区、㉔ 荒川区地域文化スポーツ部スポーツ振興課、㉕ 台東区教育委員会スポーツ振興課、㉖・㉗ 葛飾区都市整備部調整課、㉘ 墨田区スポーツ振興課、㉙ 江戸川区土木部水とみどりの課、㉚ 江東区土木部施設保全課

(計: 12会場 内2会場は市民団体との協同開催)

荒川クリーンエイドの仲間たち

荒川クリーンエイドは、2016年も市民団体・自治体・企業・学校など様々な団体とのパートナーシップを実現しながら、荒川とその支流の各地で実施されました。

1・2 (NPO)秩父の環境を考える会

影森グランド下河川敷～柳大橋下河川敷(秩父市)／岩田泰典

本年度で11年目のゴミ調査。毎年ほとんど同じメンバーの方に本事業に参加してもらっている。昨年より2人増の63人の参加をみて、さらに盛況。ゴミも昨年と大差なし。ただし、若者の参加が少ないので、若年層の参加を取り込む何らかの啓発活動を展開したいと思う。影森地区の連合町会長が本腰を入れているので、来年も更に参加者を増員させるべく働きかけてくれる、と約束してくれたことは心強い。

- 1) ①3月27日(日) ②27人 ③40袋 ④20個 ⑤秩父市金室町会、阿保町会
2) ①10月23日(日) ②63人 ③39袋(18/19/2) ④3袋(1/2/0) ⑤9個

3 秩父教育懇話会(秩父子どもエコクラブ)

高砂橋上流右岸(長瀬市)／新井秀直

野山などの自然にふれ、遊びを通して自然を学び、自然のありがたさを知り、自然を大切にすることを育てたいと活動しています。荒川をきれいに川に遊び楽しい思い出を作るのも活動の1つです。リバースクールは、ゴミ調査とカヌー体験をします。今年で13回目となり、13年続いたこととなります。平成27年3月には彩の国埼玉環境大賞奨励賞をいただきました。自然の恵みを考え、これからも活動したいと思います。

- ①8月9日(火) ②26(17)人 ③2袋(1/1/0) ④1袋(0/0/1) ⑤1個

4 (NPO)熊谷の環境を考える連絡協議会

熊谷市内河川敷6会場(熊谷市)／栗原 堯



当会の事業活動として今年で、第19回目となりました。当日はやや風が強かったものの晴天に恵まれました。一般市民、自治会、企業、子供会、各種団体等の50団体が参加し、1,200余名のもと実施しました。ゴミ集積場所13ヶ所に燃えるゴミ(赤旗)と燃えないゴミ(白旗)の目印を立て、収集を行いました。その後、当日中に熊谷市の美化センターからのパッカー車3台で回収を行いました。当会スタッフは、対象エリアがおよそ8kmと広域なため、受付場所を6ヶ所設け、スタッフ各2名で対応しました。

- ①11月6日(日) ②1,207(362)人 ③可燃ゴミ280kg、不燃ゴミ300kg ④60kg

5・6・7 鴻巣の環境を考える会

鴻巣市河川敷3会場(鴻巣市)／川島秀男

5)大芦橋下流左岸 6)糖田橋下流左岸 7)御成橋下流左岸



11/23(水祝)8:00鴻巣市の荒川糠田グランドに集合した面々は、快晴の下、鴻巣市長室小川様の記念写真撮影から始まり、荒川クリーンエイドの第一歩を踏み出した。この場所は、比較的ゴミが少なかった。先月、鴻巣花火大会が開催され、その翌日、ゴミ拾いが行われた後でした。しかし、糠田橋の下あたりには、煙草の吸殻や弁当箱の殻などが捨ててありました。今年、新たに国土交通省荒川上流河川事務所にて掘削された大間のコウノトリ湿地では、はじめてプラスチック系のゴミ拾いをしました。これから、コウノトリが飛来してくる日を夢見ながら、一同楽しく過ごせました。

- 5) ①11月23日(水) ②4人 ③4袋 ④3個
6) ①11月23日(水) ②6人 ③5袋
7) ①11月23日(水) ②25人 ③15袋 ④15個
⑤ふきあげ環境フォーラム、(NPO)鴻巣こうのとりを育む会

8 ふれあい市野川クリーンアップ作戦協議会

吉見百穴前市野川河川敷(吉見町)／伊田登吾三郎



東松山市と吉見町の間を流れる市野川にて、地域のロータリークラブ、自治会、学校、商工会、企業の方々など約570人が参加して、市野川河川敷の清掃を実施しました。清掃の結果、2トン車3台分のゴミを回収することができました。

当日は、河川清掃のほか、市野川に生息する魚の展示、アクリルたわしの手作り体験、県土整備事務所の事業を紹介したパネル展示が行われました。河川清掃や魚とのふれあいを通じ市野川への親しみが増すとともに、地域住民相互の交流が深まりました。当日は、地元ロータリークラブから温かい豚汁が振る舞われ、河川清掃後の参加者の疲れをいやしました。

- ①11月12日(土) ②570人 ③2トン車3台分

9・10・11 大谷川クリーン大作戦市民実行委員会

大谷川(鶴ヶ島市) 9)藤金地区／小沼英二 10)五味ヶ谷地区／滝島静明
11)太田ヶ谷地区／内野訓雄



大谷川一斉清掃活動は、クリーンデーと同日に、藤金地区、五味ヶ谷、太田ヶ谷の市内3カ所の会場で一斉に行った。今年も3会場とも実施することができ、総勢53名が参加してゴミの回収と河川整備を行った。各会場で回収したゴミの総量は、例年と変わらないようだった。ただ、今回は大型のゴミは自転車が1台と少なかった。今年も各会場とも投棄されたゴミの回収もさることながら、河川環境の整備に対する取組みにエネルギーを割かざるを得なかったようである。五味ヶ谷地区では、倒伏し河川を覆う竹の処理、藤金地区では河畔の草刈りと河川を覆う倒木、太田ヶ谷地区では外来種のオオフサモの処理に取り組んだ。

- 9) ①10月16日(日) ②11人 ③36袋(29/7/0)
④つるがしま里山サポートクラブ、鶴ヶ島の自然を守る会、エコ鶴市民の会
10) ①10月16日(日) ②30人 ③10袋(9/1/0)
11) ①10月16日(日) ②12人 ③59袋(57/2/0) ④1個 ⑤大谷川源流の会

12 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会 秋イベント実行委員会

荒川太郎右衛門地区(川島町)／川島秀男

- ①10月16日(日) ②150人

13 (NPO)荒川の自然を守る会

三ツ又沼ビオトープ(川島町)／菅間宏子



今年もゴミが少なかった。洪水による流入物もなかった。平常からゴミ拾いしていることも一因だと思う。1週間前の活動日にもゴミ拾いをしています。

- ①10月2日(日) ②9人
④2袋(1/1/0) ⑤6個

14・15 NTT東日本 埼玉事業部グループ

14) 入間川上戸運動公園(川越市)／小山裕之
15) 秋ヶ瀬運動公園(さいたま市)／久保田弘美



入間川上戸運動公園：当日は強風が吹き、運動場からの砂嵐が舞う中での清掃活動となり大変でした。ゴミについては、ビン、缶、ペットボトルと酒類が多く、暑い夏の間捨てられたゴミの可能性が高いと思われます。ゴミを拾う

ことで改めて環境に対する意識が向上しました。秋ヶ瀬運動公園：前日にも別の団体が清掃活動をしていたため、ゴミの量は少なかったように思いますが、来年も引き続き実施し、地域に貢献するとともに、社員のマインド向上等にもつなげていきたいと思っています。

- 14) ①11月6日(日) ②48(1)人 ③54袋(35/10/9) ④8袋(2/6/0) ⑤2個
15) ①11月6日(日) ②14(3)人 ③4袋(2/1/1) ④2袋(0/2/0) ⑤5個

16 あさか環境市民会議、黒目川に親しむ会

黒目川・浜崎黒目橋周辺(朝霞市)／藤井由美子

- ①10月9日(日) 雨天中止

17 黒目川クリーンエイド実行委員会

黒目川・新小金井街道周辺(東久留米市)／菅谷輝美



黒目川クリーンエイド「河童のクウのクリーン作戦」は、少年野球チーム・環境市民団体・都立高校生徒、ライオンズクラブと企業の協力により、約500名近くの参加者で実施出来ました。子どもたちが川に展開すると、川沿いを散歩する人々は子ども達に「川を綺麗にしてくれてありがとう」と声を掛けてくれました。川に近づいて活動できるのはこのクリーンエイドの時だけです。みんなで何時も湧き水の川に近づける仕組みを作りたいと思います。

- ①10月23日(日) ②438(310)人 ③102袋 ④4個
⑤都立東久留米総合高校、東京湧水ライオンズクラブ、(株)山水

18・84 リコージャパン(株)

18)笹目橋下流左岸(戸田市)／増田 清
84)堀切橋上流右岸(足立区)／鳴島里美



10月の活動は、台風の後で河岸まで川があふれていたようでもペットボトル等の軽い漂流ゴミが多く、拾い甲斐のある活動になりました。皆がゴミの多さに驚き、拾うことの大変さを実感することでゴミを減らす、また所定の場所以外には出さないようにしなければいけないと気づかされました。今後も継続し定着した活動にしていきたいと考えています。

- 18) ①10月15日(土) ②51(4)人 ③39袋(24/3/12) ④14袋(3/10/1) ⑤7個
84) ①5月29日(日) ②82(10)人 ③55袋(33/1/21) ④36袋(13/23/0) ⑤20個 ⑥BRITA Japan

19 埼玉県生態系保護協会 戸田・藤支部、戸田市公園河川課、荒川夢クラブ

戸田橋周辺左岸(戸田市)／石本 誠



ゴミ拾いのふりかえりの中でタバコの吸殻が多いとの指摘がありました。他の会場に比べて多い様です。毎回マナーの悪さに驚かされます。参加者の一人は自分からゴミを拾うことを心掛けていきますと書かれた方がおられました。

- ゴミ拾いに参加する事でこの様な人が増えれば幸いです。
①11月13日(日) ②93(61)人 ③22袋(12/6/4) ④9袋(3/5/1) ⑤22個
⑥戸田市立喜沢中学校、戸田市立第一小学校、戸田公園町会

| | |
|------------------------------|-----|
| 市民団体 | 自治体 |
| 企業 | 学校 |
| 実施会場名 / キャプテン名 | |
| ①実施日 ②参加人数(子ども人数) | |
| ③大ゴミ袋数(可燃/不燃/ペットボトル) | |
| ④小ゴミ袋数(びん/缶/電池) ⑤粗大ゴミ数 ⑥参加団体 | |

20・35 (NPO)国際ボランティア学生協会

戸田橋～新荒川大橋両岸(川口市・北区)／長谷部 藍、澁谷春菜



私たちはNPO法人国際ボランティア学生協会に所属する学生であり、今回は北区にある東京家政大学の学生が中心となって清掃活動を行った。今後も続けていきたいと思う。

20) ①11月27日(日) ②84人 ③22袋(14/2/6) ④13袋(2/10/1) ⑤11個
35) ①5月1日(日) ②99人 ②9袋(6/2/1) ③4袋(1/3/0) ⑤3個

21 川口市役所建設部建設管理課

荒川運動公園～三領水門(川口市)／本澤正之



本年も寒い中、多くの方に参加をいただき、荒川河川敷の清掃が出来ました。河川敷自体はきれいに見えますが、細かいところに目を向けると、昨年よりゴミが少し多くなっているようでした。今後もこの活動を通じて荒川をきれい

にしていけたらと感じました。

①10月30日(日) ②70(41)人 ③6袋(2/2/2) ④3袋(0/3/0)
⑥荒川夢クラブ、川口市立南中学校、原町小学校、ボーイスカウト川口地区

22 荒川夢クラブ

荒川運動公園釣堀池周辺(川口市)／林 美恵子

①4月17日(日) 雨天中止

23・24 埼玉県生態系保護協会 川口支部

河原町原っぱ(川口市)／西尾研二、西尾三枝子



中潮の為、ゴミたまりはよく見え、“こっちにもあっちにもある”と拾いがいのあるゴミ拾いでした。調査カードに書き入れるのが大変なくらい。「やめられないネ」と言いながら、「またこの次ネ」と終了しました。その後バツ捕り大会、

虫好き親子が集まって、チョウ、カマキリ…とたくさん捕ってくれました。最後に“飛べ！バツ”競技会、燃えました。来年はもっと進化させます。楽しい一日でした。

22) ①4月23日(土) ②7(2)人 ③7袋 ⑤6個

23) ①10月22日(土) ②30(15)人 ③23袋 ⑤3個 ⑥かわぐちっ子荒川クラブ

26・27 FUJIO PROJECT

荒川戸田橋陸上競技場周辺(板橋区)／宮地藤雄



26) ①1月31日(日)
②100(30)人
③17袋(11/5/1)
④5袋(1/4/0) ⑤5個
27) ①4月29日(祝)
②330(60)人
③16袋(13/1/2)
④5袋(2/3/0) ⑤12個

28・29 いたばし野鳥クラブ、板橋区みどりと公園課

板橋区生物生態園・中規模自然地(板橋区)／栗林菊夫



10月22日、板橋区みどりと公園課に加え、三井関係企業の方から参加したいと連絡がありました。ただ、ゴミが少ないので、トン汁を食べる交流が主になるかと思いました。連絡していなかった生協パルシステムやクラブでは、お孫

さんを連れての参加もありました。小一時間ほどのゴミ拾いの時と食事中、猛禽類が見られましたので、みなさんに楽しんでもらいました。集めたゴミは、公園課が対応してくれましたので、助かりました。
28) ①4月24日(日) ②13人 ③4袋 ④2袋
29) ①10月22日(土) ②52(1)人 ③11袋(5/5/1) ⑤6個
⑥三井造船労働組合連合会、生活協同組合パルシステム
(※)10月22(土)のみ共催

30・31 板橋区立エコポリスセンター

戸田橋上流右岸(板橋区)／佐藤淳平



当館と協定を結んでいる専門学校での授業の一環として荒川をテーマに様々な調査をしてまとめています。今年度は、この調査のテーマの1つとしてゴミ調査を実施する運びとなり、荒川に落ちているゴミの数や種類を記録することになりました。そこで、荒川クリーンエイドの活動とも絡められると思い、実施させて頂きました。

30) ①11月4日(金) ②4人 ③3袋(2/0/1) ④2袋(0/2/0)

31) ①11月18日(金) ②6人 ③3袋(1/1/1) ④5袋(1/3/1)

32 板橋グローブクラブ

戸田橋上流右岸(板橋区)／佐藤淳平



板橋グローブクラブは、板橋区内の小・中学生が集まって身近な環境について遊びながら学ぶグループです。各プログラムは、板橋区立エコポリスセンターの指導員がプロデュースをして、安全に配慮しながら楽しく体験ができる内容で実施しています。落ちているゴミは年々減っているような印象ですが、タバコがとても多く、この場所では毎年1位となっています。

①10月23日(日) ②19(11)人 ③3袋(1/1/1) ④3袋(1/1/1) ⑤3個

33 三菱UFJ信託銀行(株)

戸田橋上流右岸(板橋区)／加藤太一



弊社は、持続可能な社会の実現に貢献していくことで、CSRを果たしていきたいと考えており、「地球環境問題」も取り組むべきテーマと定めております。これまで森林伐採等を行って参りましたが、今回初めて荒川河川敷でのクリーンエイドに参加しました。当日は晴天にも恵まれ、社員および家族54名が参加しました。慣れないゴミ拾いでしたが、参加者から「1人が捨てたゴミが集積すると大変なことになるということを改めて感じた。こういった活動を広めていくことが重要である。」との声があり、継続して取り組んで参りたいと思います。

①3月27日(日) ②58(1)人 ③92袋(47/24/21) ⑤65個

34 (一社)グッド・チャリズム宣言プロジェクト

戸田橋上流右岸(板橋区)／韓 祐志



グッド・チャリズム宣言プロジェクトとしては今回で3回目の参加です。今回感じたのは同じ荒川と言っても、場所によってだいぶ違うということ。流れ着いたゴミとそうでないゴミ。今回の場所ではその場で捨てられた「生活ゴミ」のような物が目立ちました。ゴミの主は「自分くらいなら大丈夫」と思っている。でも「まず自分からやめよう」と思うことから全ては変わります。自転車のルールを守ることと同じだなあと、改めて考えました。

①11月13日(日) ②42人 ③51袋(33/8/10) ④16袋(3/13/0) ⑤10個

⑥ろうきんセントラル労働組合、アルミ缶リサイクル協会

36 東京都立桐ヶ丘高等学校

北区・子どもの水辺(北区)／玉井 勲



普段からゴミ拾いを好まない生徒が多い印象を持っていた。そのため、荒川クリーンエイドを実施するまでは生徒が積極的に取り組むかどうか不安だった。河川敷に生徒が集会した時は、どうしたらよいか困っている様子だった。しかし、ゴミ拾いの作業に慣れてくると生徒全員楽しそうにやっていた。共同作業をしたことによって、生徒同士の人間関係が深まったことを感じた。生徒が多くのことを学べる企画であることを実感した。

①11月8日(火) ②44人 ③19袋(5/7/7) ④9袋(4/5/0) ⑤2個

⑥北区水辺の会

37～46 北区水辺の会

北区・子どもの水辺(北区)／太田桐正吾



「北区・こどもの水辺」で活動しています。定例活動は第3土曜日です。この日に、クリーンエイドを実施しています。終わってからの、交流会は楽しいです。ハート型のワンドと長方形のワンドの維持、管理しています。子どもたちが、

楽しく自然学習ができるように、サポートをしています。1番人気はクロベンケイガニ捕りで、その時はとても賑やかです。
37) ①1月16日(土) ②152(131)人 ③20袋
38) ①2月20日(土) 雨天中止
39) ①4月16日(土) ②52(1)人 ③23袋 ⑤2個
40) ①5月21日(土) ②10人 ③5袋(3/1/1) ⑤2個
41) ①6月18日(土) 雨天中止
42) ①7月16日(土) ②5人 ③4袋
43) ①8月20日(土) 雨天中止
44) ①10月15日(土) 雨天中止
45) ①11月19日(土) 中止
46) ①12月17日(土) 中止

47～52 大正大学 環境サークルsmile

北区・子どもの水辺(北区)／松本嵩章、阿部太一、佐々木麟太郎



荒川には人によるゴミが数多く落ちています。人為的に投げ込まれたものもあれば、つい落としてしまったものもあると思います。しかし、ゴミを荒川に置いてきてしまっていることには変わらず、そのゴミで被害を受けているのは

荒川に棲む生物たちです。現代社会で人間が生きる以上、ゴミはなくなりません。しかし、ゴミを決められた場所に捨てたり、そもそもゴミ自体を減らすことはできます。ゴミを拾う人も必要ですが、ゴミを無為に増やす人が少なくなることも重要だと思います。

47) ①2月27日(土) ②7人 ③4袋(2/1/1) ④2袋(1/1/0)
48) ①5月1日(日) ②13人 ③4袋(2/1/1) ④2袋(1/1/0)
49) ①5月15日(日) ②19人 ③7袋(4/1/2) ④2袋(1/1/0)
50) ①6月26日(日) 中止
51) ①10月9日(日) 雨天中止
52) ①12月11日(日) ②6人 ③3袋(1/1/1) ④3袋(1/1/1) ⑤27個

53 北区

荒川岩淵関緑地(北区)／市川浩平



東京都北区役所では北区内の町会・自治会を集めて毎年荒川クリーンエイドを実施しています。まだまだたくさんのゴミが捨てられている現状ではありますが、参加者の方からは年々ゴミが減っているといった声も聞くことができ、

こうした取り組みの意義を感じることができました。
①10月23日(日) ②227(25)人 ③50袋(23/15/12) ④20袋(10/10/0) ⑤13個

